

「国民の森林」に向けた取組の推進 平成18年度国有林野の管理経営に関する 基本計画の実施状況



平成18年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況が公表されました。基本計画にある4つのおもな取組を中心に多くの活動事例とともに国有林野の管理経営状況を紹介します。

国有林野事業の役割と 管理経営基本計画

国有林野は日本の国土の約二割、森林面積の約三割を占め、国土や自然環境の保全、水源のかん養、保健休養の場の提供など、公益的機能の発揮が求められてきました。さらに近年では、地球温暖化防止や生態系の保全、森林教育への貢献、森林セラピー基地などのフィールド提供など、国有林野に対する国民の期待や要望が多様化しています。

国有林野事業では、国有林野の管理経営の基本方針を明らかにするために、国民の皆様のご意見を聴いた上で、一〇年を一期とし、五年ごとに改訂する「国有林野の管理経営に関する基本計画」（以下、管理経営基本計画）を策定し、これに基づいた管理経営を行っています。現在の計画は、平成十六年四月から、平成二六年三月まで。平成十八年に新たに策定された「森林・林業基本計画」、平成十九年二月の「美しい森林づくり推進国民運動」の取組なども合わせて、管理経営を行っています。

名実ともに「開かれた『国民の森林』」を実現するための国有林野の管理経営状況はどのようなものか、平成十八年度に行われた実施状況を紹介します。

森林の持つ公益的機能を 維持・推進するための取組

事例 1
長伐期施業



四国森林管理局 愛媛森林管理署では、長伐期施業が行われ、多様で豊かな森林づくりに取り組んでいます

奥地脊梁山地や水源地域に広く分布している国有林野の多くは、地域特有の景観や豊かな生態系を有しています。それらの森林は、国土や自然環境の保全、水源のかん養など、さまざまな公益的な機能を担うなど、私たちの生活の中で大きな役割を果たしています。国有林野事業では、これらの公益的役割を十分に発揮させるために、適切で効率的な管理経営が行われています。

奥地水源地域に広く分布する四国森林管理局管内の国有林野では、一〇〇年程度の長い周期で伐採や植林を繰り返す長伐期施業、年齢や高さの異なる森林から構成される育成複層林施業、そして針広混交林化を推進し、水土保全林（湧水や洪水の緩和などを目的とした森林）の占める割合を七七%まで拡大する計画に取り組んでいます（事例1）。

事例 2
低コスト作業道



近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署での低コスト作業道の開設。間伐などの森林整備を低コストで行うため、継続的に利用する作業道を整備

また、森林整備を効率よく行うために、基幹となる林道と組み合わせ、継続的に利用する作業道の整備も大切（事例2）。これによって、高性能林業機械が活用しやすくなり、低コストで森林整備を行うことができます。

和歌山森林管理署では、同時に技術者を育成するために、民有林関係者に対し、国有林野を技術研修のフィールドとして提供する予定です。

そのほかでは、国民の皆様が安心して安全な暮らしを実現することを目的とした治山事業も計画的に行いました。荒廃地の復旧整備や保安林の整備以外にも、新潟県中越地震のように民有林内で発生した土砂崩れ、地すべりなどの災害にも迅速に対応しました。この際、豊かな自然環境を保全することに配慮し、コストの縮減にも努めています（事例3）。

事例 3
生態系に配慮した治山事業



北海道森林管理局 網走南部森林管理署では、魚類の生態系に配慮した治山事業を実施。鮭がのぼる川へと生まれ変わりました



事例 4
「遊々の森」の設定

東北森林管理局 岩手北部森林管理署では、森林環境教育の支援として「遊々の森」を活用しています

教育関連機関などとの連携による
森林環境教育の取組状況

連携機関	回数	参加者数	おもな取り組み内容
小学校	598	30,658	森林教室、木工教室、自然観察会などの開催や植樹などを実施
中学校	162	7,456	森林教室、下刈り、間伐などの体験林業や森林調査などの体験などを実施
高校・大学	87	3,568	枝打ち、間伐などの体験林業や森林管理署などにおける就業体験などを実施
教育委員会	63	3,186	教職員を対象とした森林教室やネイチャーゲームの体験などを実施
その他	441	54,492	地域の自治体やNPOなどと連携して開催した各種イベントの中で、プログラムの一部として森林教室などを実施
計	1,351	99,360	

回数及び参加者数は、平成 18 年度の実績

おもな取組
森林環境教育への貢献

**森林と触れ合う場としての
国有林野の在り方**

近年、国有林野に対する期待や要望が多様化し、森林環境教育への貢献が求められています。そこで、森林環境教育の実践の場として利用できるように、プログラムの整備やフィールドの提供などに積極的に取組んでいます。

この取組の一環として、学校などの教育関連機関と森林管理署などが協定を結び、子どもたちの自然体験や自然学習を支援する「遊々の森」の設定を進めています（事例 4）。平成十八年度には新たに二箇所が締結され、さまざまな活動が行われました。

ほかにも、「森林環境保全ふれあいセンター」では、「森林環境教育プログラム」を作成し、教育関係者を支援しています。

事例 5
さぬき市間伐



四国森林管理局では、地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて、積極的な間伐を実施

おもな取組
地球温暖化防止における
間伐の実施・木材利用

**温室効果ガス削減のための
森林整備と間伐材の有効利用**

京都議定書における、森林による温室効果ガス削減目標一三〇〇万炭素トン達成に向けて、国有林野事業でも「京都議定書目標達成計画」や「地球温暖化防止森林吸収源十九年対策」を踏まえ、さまざまな取組を行っています。

その代表的な事例が、間伐などの適切な森林経営。温室効果ガスとなる二酸化炭素を吸収・貯蔵する、健全な森林を整備・保全するために、間伐の実施や複層林化に取組まれた（事例 5）。また、森林整備の推進に貢献するように、治山事業など森林土木工事には、間伐材を積極的に利用（事例 6）。これらを推進することで、地球温暖化の防止にも努めています。

事例 6
秋田市溪間工



東北森林管理局 秋田森林管理署では、溪間工や治山ダムのコンクリート型枠などに、間伐材を有効利用しています



事例 7
アカギの駆除

関東森林管理局では、小笠原諸島の優れた森林生態系を保護するため、国有林の約8割を対象に森林生態系保護地域に設定。アカギなど外来種の駆除をはじめ、外来種対策を計画的に推進しています

おもな取組
守るべき保護林の保全と管理

**優れた自然環境を有する
森林の保護**

保護林の設定状況

保護林の種類	目的	箇所数	面積 (千ha)
森林生態系保護地域	森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保護	28	494
森林生物遺伝資源保存林	森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存	12	35
林木遺伝資源保存林	林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存	324	9
植物群落保護林	希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群などの保存	363	181
特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその消息地・繁殖地の保護	36	21
特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、水河跡地の特殊な地形・地質の保護	35	35
郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存	35	4
合計		833	778

平成 19 年 4 月 1 日現在

国有林野には、原生的な森林生態系や貴重な動植物種が生息する森林が多く残されています。なかには、屋久島や白神山地、知床半島など、世界遺産に登録された森林もあります。国有林野事業では、大正四年に保護林制度を設定し、優れた自然環境の保全や管理に努めてきました。

平成十八年度には、小笠原諸島や恐山山地など八箇所を新たに設定、または拡張しました。特に小笠原諸島は、世界的にも貴重な固有の動植物が生息しており、外来種を駆除するなどの対策が進められています（事例7）。

また、植生の回復や野生動物による食害を防ぐ保護柵を設置するなど、保護林を守るためのさまざまな対策がとられています。

事例 8
島外出荷



九州森林管理局 屋久島森林管理署では、人工林間伐材の島外出荷を試行しています

その他の取組

これまでのおもな取組以外にも、国産材の需要拡大を目指す、持続的かつ計画的な木材供給をはじめ、地域振興に取組む公共団体に対するフィールドの提供など、国有林野事業の取組は、多岐にわたります。具体的な例を挙げると、九州森林管理局による離島にある人工林の間伐材を島外へ出荷する取組や、東北森林管理局などによる森林セラピー基地のためのフィールド提供などが、それにあたります。

事例 9
森林セラピー



東北森林管理局 置賜森林管理署では、森林セラピー基地として国有林野のフィールドを提供

事例 10
グリーン・サポート・スタッフ



入込者の増加により植生への影響が懸念される国有林野では、国民から巡視やマナーの啓発活動を行うグリーン・サポート・スタッフを募集